

タブ 1

メタディスクリプション

予備校と塾の違いは授業形態や講師との距離感などにあります。自分に合った環境で学習することで、効率的に大学受験対策を行うことができます。本記事では元講師の筆者の経験から、予備校と塾の違いやどちらが向いているか？について解説していきます。

【元講師が解説】予備校と塾の違いは？ どっちが向いてる？大学受験対策に向けて 選び方を紹介

予備校と塾の違い

どっちが向いてる？

大学受験対策に向けて
選び方を紹介



大学受験対策において、自分に合った環境で学習していくことは大切です。

しかし、

「予備校と塾がどう違うのか」
「自分がどちらに向いているのか」
「どうやって選べばいいのか」

というお悩みを抱えている方もいるのではないのでしょうか。

本記事では、予備校と塾の違い、向いているのはどちらなのか、また、予備校や塾についての選び方について、予備校と塾で勤務した経験がある筆者が解説していきます。

「大学受験を効率的に進めたい」「しっかりと対策をして志望校合格に結び付けたい」と考えている方はぜひ参考にしてくださいね。

h2:【予備校と塾】5つのポイントで比べるそれぞれの違い

今回は、予備校と塾の違いについて下記の5つのポイントで比較していきます。

- ①授業形態
- ②講師や距離感
- ③カリキュラム、時間割
- ④進路指導
- ⑤費用

予備校と塾、一体何が違うのでしょうか？まずは、両者の概要を簡単に比較してみましょう。

h3:①授業形態

授業形態 	
予備校	集団指導が主
塾	個別指導が主

予備校は主に講師の説明を生徒が聞く講義形式です。

講師1人に対して50人以上の大人数で講義を行う予備校もあります。「大学受験対策」を目的に計画的に講義が進められていくため、緊張感を持って取り組めたり効率的に学んでいくことができます。

対して塾は個別指導の形式が多いです。集団であっても少人数(20名前後)の授業形式で実施されます。

生徒の理解度を見て、一人ひとりの個性に合わせた授業内容になることが特徴です。

h3: ②講師や距離感

講師や距離感 	
予備校	大学受験に特化したプロ講師
塾	距離感が近く、質問しやすい

予備校は、大学授業に特化したプロ講師が講義を行います。わからない部分があれば授業後に講師に質問することも可能です。

気軽なコミュニケーションはありませんが、講師によっては親身に質問対応をしてくれることもあります。

対して塾は教科それぞれに担当があり、生徒の習熟度に合わせて指導してくれます。

双方向のコミュニケーションをとることができ、予備校に比べると質問しやすい環境です。

しかし、アルバイトが講師を務めることもあります。

h3: ③カリキュラム、時間割

カリキュラム・時間割 	
予備校	志望校別のコース制
塾	生徒の習熟度によって変わる

予備校は、志望校別のコース制のところが多く、年度初めに決められた時間割によって授業が進められていきます。

また、予備校は大人数で講義を行うため、休んだ分は振替授業ではなくビデオ視聴などで補うところがほとんどです。

一方、塾は授業形態が個別か集団かによって変わりますが、授業を受ける生徒の習熟度によって授業レベルが分かれているケースがほとんどです。

加えて個別指導の塾では、休んだ時に振替授業があり、集団授業の場合でも講師によって補講などが設けられることもあります。

h3:④進路指導

進路指導 	
予備校	自分で調べることがほとんど
塾	授業担当の講師が対応

予備校では、講師＝講義を担当する人なので、直接進路指導をしないことがほとんどです。相談しに行けば対応してくれる講師もいますが、基本的には自分で調べることが多くなります。

ただし、予備校によっては進路指導専門のスタッフが常駐している校舎もあります。

対して塾は一般的に教科担当が授業から進路指導まで一貫して行ってくれます。

実際に学力を見ている講師が直接進路指導を実施してくれるので、きちんと目標を決めて自身にあった学習を行っていくことができます。

h3:⑤費用

費用 	
予備校	コース費用 + 特別講習費も
塾	選ぶ科目によって異なる

予備校は一般的にコース制のため、年間カリキュラムによって金額が決まります。

それに加えて夏期、冬期、受験直前対策など特別講習にも費用がかかるため、比較的高価になりがちです。

対して塾は個別指導か集団授業か、どの科目を選択するかによって異なります。

そのため、自分に必要な科目のみの費用がかかります。

特別講習がある塾も多いですが、予備校に比べると一般的には安価になっています。

h2: 予備校のメリット・デメリット

予備校の メリット・デメリット



先述した通り、予備校と塾には様々な違いがあります。

メリットだけでなくデメリットも確認することで納得して選択できるようになりますので、順番に確認していきましょう。

まずは予備校のメリットとデメリットから紹介していきます。

h3: メリット

予備校のメリットとして、以下2点を紹介します。

h4: レベルの高い授業

予備校の講師は大学受験対策に特化していて、志望する大学の受験対策にマッチしたレベルの高い授業が受けられます。

弱点克服や難関大対策など幅広いコースが用意されているので、自分に合ったコースから選択できます。

h4: 最新の入試情報と対策

大学入試システムはプレゼンテーションを用いる入試や対話式など近年多様化してきており、それに伴って試験の方式なども複雑化しています。

先述したとおり予備校は大学受験対策に特化しているため、入試情報や各大学の試験情報も豊富にあります。

h3: デメリット

次に予備校のデメリットを2点紹介します。

h4: 大規模な授業スタイルで個別指導が難しい

大人数での講義形式である予備校は、わからない箇所をすぐ講師に質問することが難しいです。

双方向のコミュニケーションが少なく、講師の一方通行で講義が進んでしまう場合もあります。

そのため、自主学習の習慣が身についていないと効果が出にくいところがデメリットとなっています。

h4: 費用が高額になりがち

年間のコースの授業料は、浪人生で平均100万円前後、高校生で60~80万円程度です。

それに加えて夏期や冬期などの特別講習や教材費などもかかるため、トータルで見ると比較的高額になっています。

h2: 塾のメリット・デメリット

塾の メリット・デメリット



続けて、塾のメリット・デメリットを紹介します。

h3: メリット

塾のメリットは以下の2点です。

h4: アットホームな雰囲気での学習しやすい

塾は予備校に比べて双方向のコミュニケーションがしっかりと行われているため、授業中に講師に質問することができたり、自分の苦手な個所に特化して授業を受けることもできます。

講師も生徒の習熟度に合わせて授業を進行してくれるため、自分に合った学習スタイルで取り組むことができるでしょう。

h4: 費用が比較的安価

予備校に比べて一般的に費用は安価であることが多いです。

自分の苦手科目・必要な科目や時期だけ、などの選び方もできるので、科目数が少なければそこまで高額になることはありません。

h3: デメリット

塾のデメリットは以下の2点です。

h4: 講師の質にばらつきがある

塾は予備校と違って大学生のアルバイトが講師をするケースがあります。

授業のペースや解説がわかりにくいなど、講師が自分に合わないと学習しづらいと感じるかもしれません。

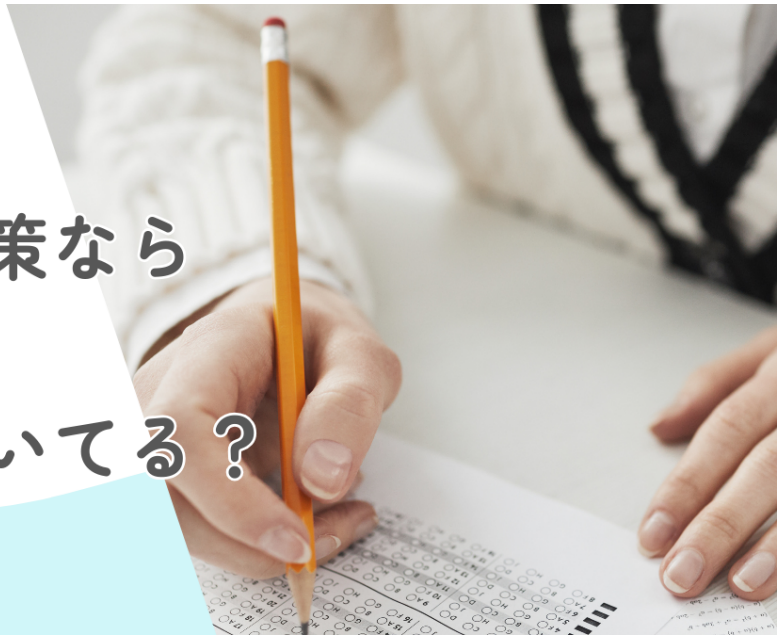
h4: 周囲の学習レベルが低いと刺激が少ない

塾は予備校に比べて超難関校をめざす生徒が少ない傾向にあります。

また、自習室などが完備されていない塾も多いため、受験対策に挑むための刺激が少ないと感じてしまう生徒もいます。

h2: 大学受験対策なら予備校か塾、どっちが向いている？

大学受験対策なら 予備校・塾 どっちが向いてる？



では予備校と塾の5つの違いや、それぞれのメリット・デメリットを踏まえて、どちらが向いているのでしょうか？

ここからは予備校と塾の選び方、どんな人に向いているのかについて解説していきます。

h3: 学習スタイルで選ぼう

自主学習が得意な人は予備校、個別指導をしてほしい人には塾がおすすめです。

h4: 自主学習が得意な人は予備校

自分で志望校を定め、計画を立てて学習ができる人には予備校がおすすめです。

予備校は、大学受験対策に特化したプロ講師からの講義を受けられる環境が整っています。

しかし、大人数の講義形式のため、講師とのコミュニケーションは自分から質問しないととりづらい傾向にあるため、自主学習できる人におすすめです。

h4: 個別指導でじっくり学びたい人は塾

密にコミュニケーションをとり、自分の苦手などに合わせてじっくり学んでいきたい人には塾が向いているでしょう。

進路指導についても誰かに導いてもらいたい人におすすめです。

h3: 志望校レベルに合わせて選ぼう

難関大学を目指すなら予備校、中堅大学以下なら塾がおすすめです。

h4: 難関大学を目指すなら予備校

志望大学別のコースなどもあるため、難関大学を目指したいと思う人は予備校が向いています。

予備校では同じ大学を目指す生徒と一緒に意識高く学習を進めていくことができます。

志望校に向けてお互いに切磋琢磨しながら学習できるでしょう。

h4: 中堅大学以下なら塾も選択肢に

中堅大学以下や、自分の苦手を補いたい人には塾が向いています。

自分のペースで学習を進めることができ、それに合った学習方法での指導を受けることができます。

自分のペースで学習を進めることでそれぞれの単元をきちんと理解しながら学習を進めることができますよ。

h3: その他、費用や通いやすさも考慮しよう

予備校・塾どちらが自分に向いているのかある程度定まってきたら、費用や立地、通いやすさを考えましょう。

実際に通ってから、「思ったのと違った…」とならないように、自身の生活スタイルや家族とも相談して選ぶと良いですね。

h2: 自分に合った学習環境で大学受験を成功させよう



大学受験には様々な苦勞が伴いますので、自分に合った学習環境で対策を進めていくのが大切です。

「最新の入試情報も豊富で、大学受験対策に特化した予備校」か「じっくりと自分のペースに合わせて学習を進められる塾」か、今の自分にはどちらが合っているかという視点で選択し、目指す大学の受験を成功させましょう！